

2006 年度

科目名		対象学科・学年 文学部日文2 回生	担当者
図像学			井上 新子
授業テーマ 絵巻を読む			
授業の概要と目標 平安時代の終わり、十二世紀に制作された絵巻を読む。高僧命蓮のおこす奇跡の物語を躍動的に描く「信貴山縁起」と、『源氏物語』各帖の場面を静止した画面に絵画化する「源氏物語絵巻」とを主にとりあげる。絵巻の鑑賞の基本をおさえ、原作及び詞書と絵との連関の様相の検討、及び絵巻に描かれた「しぐさ」や「もの」の意味の解説等を軸に、各絵巻の特色に迫りたい。なお、「源氏物語絵巻」鑑賞の際には、このたび復原された同絵巻の絵も参照したい。			
評価方法 出席状況（20点）、授業時の課題への取り組み（20点）、レポートの成績（60点）を勘案し、評価する。			
テキスト 『じっくり見たい『源氏物語絵巻』』		著者 佐野みどり 著	出版社 小学館
参考書 講義内で、適宜紹介。		著者	出版社
授業スケジュール・内容 1 図像学・絵巻について 図像学とは何か。絵巻の形態と歴史。絵巻の鑑賞の基本。 2 「信貴山縁起」(1) 「信貴山縁起」についての概説。飛倉の巻を読む①。 3 「信貴山縁起」(2) 飛倉の巻を読む②。尼公の巻を読む①。 4 「信貴山縁起」(3) 尼公の巻を読む②。異時同図法について。 5 「源氏物語絵巻」(1) 源氏絵の歴史。「源氏物語絵巻」についての概説。 6 「源氏物語絵巻」(2) 関屋図・蓬生図を読む。『源氏物語』本文と「源氏物語絵巻」詞書。 7 「源氏物語絵巻」(3) 柏木一・二図を読む。吹抜屋台の描法について。 8 「源氏物語絵巻」(4) 柏木三図・横笛図を読む。引目鉤鼻の描法について。 9 「源氏物語絵巻」(5) 鈴虫一・二図を読む。つくり絵の制作過程について。 10 「源氏物語絵巻」(6) 夕霧図・御法図を読む。空間と人物配置。 11 「源氏物語絵巻」(7) 竹河一・二図を読む。風景と人物。 12 「源氏物語絵巻」(8) 橋姫図・早蕨図を読む。「もの」の意味するもの。 13 「源氏物語絵巻」(9) 宿木一・二図を読む。女房たちの描出の効果について。 14 「源氏物語絵巻」(10) 宿木三図・東屋一図を読む。心象風景を象徴する景物。 15 「源氏物語絵巻」(11) 東屋二図を読む。まとめ。			